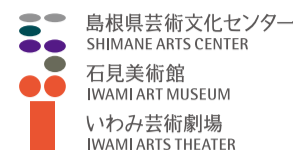


Grand Toit News

vol. 70
Summer 2022



Grant Two News

企画展紹介 「石見出身のアーティストが描く
スペキュラティブな世界像」

劇場事業紹介 「いわみ芸術劇場館長・木原義博が語る
『Grant Two』」

●特集 しまね伝統芸能祭 2022
高校生の神楽フェスティバル

●「Grant Twoのおすすめ」
身体表現のワークショップ

●リレーでコラム ほか

ホール耐震改修工事期間中も
Grant Two & 石見美術館は
通常開館中!

展覧会タイトルは出品作品から導き出されたものと思いますが、それぞれどんなテーマの作品を展示されますか？

平川 やや抽象的で生煮えの答えになってしまいますが、光を見て音を聞くといった人間の知覚、言葉やイメージといった人間にとっての意味を超えていくことがテーマだといえるかも知れません。

古代ギリシャの自然哲学から、ニュートン以降の近代科学を経る中で、宇宙の中心は次々と更新されてきました。地球ではなく太陽、太陽ではなく天の川銀河……現代宇宙論では宇宙に中心は無いとされています。人間

石見出身のアーティストが描く 企画展「平川紀道・野村康生 既知の宇宙 | 未知なる日常」 について、出品作家のお二人にお話をうかがいました。 スペキュラティブな世界像

は、人間中心でない世界と向き合うことができるのでしょうか。

野村 私はもともと絵画を主体に作品を展開してきましたが、ここ数年は高次元といわれる数学的な視点からその二次元の平面性を拡張するような作品にチャレンジしています。高次元の世界では私たちのよく知っているはずの空間が裏返ったり、別の空間とシェアの関係で存在したりします。そうした現象にヒントを得て、来場者の皆さんの普段見ている世界がクルンとひっくり返るような体験を引き起こす作品をお見せできたらと思っています。

お二人が共同で考案された作品もあるとうかがっています。

野村 展覧会に足を運んでくださる皆さんも巻き込んで、作品が成長していくようなアイデアを二人で考えました。私たちはともに、壮大な宇宙や根源的な法則、そこに宿る世界の秘密に強く関心を寄せているようです。

今回はさらに地球にも一役買ってもらって皆さんと一つの作品を作り上げられたらと思っています！

平川 かなり実験的な試みになりそうですが、美術の歴史に照らすと、観客に「指示」が提示される「インストラクション・アート」と呼ばれるものが近いかも知れません。初めて取り入れる要素が多く、今の時点でどういったものを断言するのは危険なので、これ以上のことをここでお伝えするのは避けたいと思います。危険と言ったのは、作品がもたらすであろう意味をアーティストが限定すると、そこに含まれない様々な余剰を見えなくしてしまうからです。

どんな作品なのか、楽しみにしています！最後に、お二人がアーティストになろうと思ったきっかけを教えてください。

野村 私の場合はいわゆる“クラスにいる絵が上手いキャラ”のポジションで、物心ついたと

きからずっとマンガや絵ばかり描いてきました。今もその延長線上にいる感覚です。そのことがいつも社会との接点を作ってくれたので、幼少期から応援し続けてくださっている方々、幼なじみや家族の存在が自分をアーティストという道に導いてくれたのだと思います。

平川 「アーティスト」とは何者なのか、という議論はキリがなくて面白いのですが、ここでは「職業として芸術をする者」としてお答えします。

明確なきっかけは無かったように思います。あったのかも知れませんが忘れました。

社会におけるすべてのサイクルが加速する中、すぐには実益を生まない物作り(=美術・芸術)を続けて来られたことは幸運だったと思います。(特に日本では)アーティストという肩書きが職業として認識されないことも多い中、それを忘れさせるほどパワフルで魅力的な大人たちや、共感できる仲間と出会ったことは、

幸運だったというほかありません。

日常を振り返ると、大きな出来事や、そのきっかけといった自覚可能なものは、実は表層でしかなく、実際は、その下層で意識に上ることのない多くの「きっかけ未満」が複雑に関係して、小さな出来事が連鎖していくと言った方が現実をよく言い表しているように感じます。語ることでできるきっかけは重要ではなく、むしろそこに至るまでの過程が本質であるとも言えます。記憶に残ることのない無数の無名のエピソードが、いつの日か訪れる「日常」を形作るのかも知れません。

平川紀道 HIRAKAWA NORIMICHI

島根県浜田市出身。2005年多摩美術大学情報デザイン学科情報芸術コース卒業。2007年、同大学大学院デザイン領域情報デザイン修了。2004年よりコンピューター・プログラミングを用いた映像・音響インスタレーションを中心とした作品群を国内外で発表する。



平川紀道 「Sensory Canvas」
2019年、明当代美術館(上海)での展示

野村康生 NOMURA YASUO

島根県益田市出身。2004年に武蔵野美術大学油絵科を卒業し2018年度の文化庁新進芸術家海外研修制度を受けてニューヨークに滞在、以降同地を拠点とする。自然界や私たちと宇宙との物理的・数学的な結びつきを探求。「高次元」を対象とした作品の制作により、人間の知覚や認識を更新する試みを目指している。



野村康生 「Dimensionism 2.0 2.0」 2020年、NOWHERE ギャラリー(ニューヨーク)での展示

企画展
平川紀道・野村康生 既知の宇宙 | 未知なる日常
HIRAKAWA Norimichi · NOMURA Yasuo given universe | days of wonder
2022.7.2 [SAT] → 8.29 [MON]
島根県立石見美術館 IWAMI ART MUSEUM
開館時間 | 9:30 ~ 18:00 (展示室への入場は17:30まで) 休館日 | 毎週火曜日
主催: 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社 後援: 芸術文化とふれあう協議会
協力: MASUDA KOHBOH Inc. 助成: 芸術文化振興基金

開幕記念対談 平川紀道×野村康生
7月2日(土) 14:00~15:30
会場: 講義室 事前申込制(定員: 30名)

事前メールか電話にて、1. イベント名、2. 氏名、3. 電話番号、4. 参加人数をお知らせください。
関連プログラム申込専用アドレス: h-n-iwami@grandtoit.jp
電話: 0856-31-1860 (Grant Two代表)

※いずれも参加無料、ただし企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

「食べる瞑想×体験型アートで自分のなかの宇宙と出会う! 大人が気付くワークショップ」
7月9日(土) 14:00~16:00
講師: 野村康生、北川智利(吉賀心理学研究所 代表、立命館大学 客員教授)、高橋康介(立命館大学総合心理学部 教授)、藤野正寛(NTTコミュニケーション科学基礎研究所 リサーチスペシャリスト)
会場: 講義室 事前申込制(定員: 20名)

特別対談 1 森田真生(独立研究者、『数学する身体』著者)×平川紀道
7月10日(日) 14:00~16:00
会場: 講義室 事前申込制(定員: 30名)

「自然の力と高次元! 子供たちと作る宇宙のシャボン玉ワークショップ」
7月18日(月・祝) 10:00~12:00
講師: 野村康生 会場: 多目的ギャラリー
対象: 小学校4年生~高校生 事前申込制(定員: 20名)

特別対談 2 内藤廣(建築家、Grant Two 設計者)×平川紀道
8月11日(木・祝) 14:00~15:30
会場: 多目的ギャラリー 事前申込制(定員: 50名)

一 関連プログラム 一

いわみ芸術劇場館長・木原義博が語る「グラントワ」

島根県西部(石見地方)の文化芸術拠点となる、全国でも珍しい美術館と劇場の複合施設「グラントワ」。これまでの劇場としての取り組みや変化、そして2023年のホール利用再開へ向けて、いわみ芸術劇場館長を務める木原義博が語ります。



木原義博 KIHARA YOSHIHIRO

益田市出身、59歳。島根発のミュージカル「あいと地球と競争人」に刺激を受け、34歳の時に異分野の民間企業から芸術文化の世界に飛び込む。「島根の伝統芸能を日本全国、世界各国に広めたい」という気持ちを持ち続けながら業務に従事している。

館長就任以来、3年が経ちました。これまでの取り組みを振り返っての感想は？

2019年4月1日に館長として就任し、事業も順調に進んでいた日々から一転、2020年からは新型コロナウイルス感染症との戦いの日々が始まりました。いわみ芸術劇場の催し物は延期・中止へと追いやられ、当初はかつてない出来事に悩む日々でした。なによりお客様・スタッフの安心安全の確保を第一に考えながら運営をしていく中で、公演中止など厳しい判断をしなければならぬ場面も多々ありました。

しかし、制限のかかる苦しい日々の中で得られたことも沢山ありました。公演や講座などの映像配信を行うオンライン事業の展開では、職員が知恵を絞って、コロナ禍でも自宅から楽しんでもらえるよう工夫を凝らしまし



「グラントワ・コンサート2021」

た。例えば「グラントワ・コンサート2021」では、日本各地とアジアの合唱団が生演奏か動画で出演し、客席で聴くのと同時にオンライン配信も行なうハイブリッド方式での開催を行い、コロナ禍だからこその事を模索しました。とはいえ、やはり非日常的な空間の中で直接観る演出に勝るものはないとも改めて感じましたね。

現在、大小ホールが耐震改修工事中です。休館の明けの来年度5月以降に取り組みたいこと、今後のグラントワの目指すものや抱負をお聞かせください。

やりたい事は山積みです！子どもから大人まで年代別にお楽しみいただける鑑賞事業の充実、また2025年の大阪万博へ向けて、伝統芸能の宝庫である島根を発信していく事業などです。そしてグラントワの賑わいの創出として、館内で気軽に楽しめる「いつでもどこでも音楽祭(ロビーコンサート)」や、ホール休館中も文化芸術でグラントワ周辺を盛り上げる「まちなか劇場」、中山間地域への取り組みなど沢山あります。さらに昨年より障

がい者文化活動支援のための地域ネットワーク作りを行っています。こちらも引き続き取り組んでいきたいと考えています。

グラントワは2025年に開館20周年を迎えます。これからも地域や、周辺の文化施設と力を合わせて石見地域を盛り上げていきたいと思っています。

最後に読者の皆様へのメッセージをお願いします。

新型コロナウイルス感染症の拡大により社会は激変し、人々の生活も大きく変わりました。このような状況の中で人々の心に豊かさや潤いを与える事が私たち文化施設の出来ることだと思います。文化芸術は、人々の勇気、元気の源となり、精神面での健康にもつながります。配信サービスによる文化芸術の提供はメリットになりましたが、やはり直接ご来館いただき多様なジャンルの表現の魅力を生で感じていただきたいと思っています。2023年度の大小ホール再開を楽しみにしていただいている皆様のご期待に応えられるよう準備を進めて参りますので是非ご期待ください。

LIFE with グラントワ

驚きのグラントワ

4年前に旧川登保育園の施設を譲り受け、川登芸術村を立ち上げました。開村祭にアーティストを引き連れて石見空港に降り立った際、皆が開口一番「ここは日本？地中海に来たみたい！」と感嘆の声をあげました。自然環境に恵まれ、中世の歴史的名所を有し、右手に萩、左手に津和野という観光地を擁する贅沢な町、益田。ここで表現の拠点をつ

くれるなんて夢のようでした。設備等はそのうち整えようと思っていた時、すでに完成した姿でそこにあるのを知った衝撃は今も忘れられません。そう、グラントワです。

噂には聞いていましたが、皆で見学に行くと驚きました。こんな極めつけがあっただろうか。石州瓦の外壁、水をたたえた広大な中庭、惜しげもなくゆとりの空間をとった劇場と美術館は言うまでもないが、大小二つのホールの設備の贅沢さ、とりわけきめ細かい設計に裏付けられた音響、こんな響き東京にもないぞ！ヴァンダーバー！

〔川登芸術村 村長 野村譲治〕

PICK UP EVENT



安来節・どじょうすくい石見ツアー

2022年7月17日(日) 10:00～
弥栄会館(浜田市弥栄町)
※弥栄の朝市「や市」と同時開催

2022年7月18日(月・祝) 14:00～
みさと館(邑智郡美郷町)
※時間は全て予定です。

島根県の代表的な民謡、どじょうすくいの唄としても全国的に広く親しまれている「安来節」があなたの町へ♪NHKの連続テレビ小説「わろてんか」にも登場した華やかで笑顔あふれる民謡を観にぜひ“来てごしないねえ”!

※各会場の定員、料金など、詳しくはグラントワホームページをご覧ください。

劇・場・を・探・る



【舞台袖③】

普段は様々な公演の舞台セットや出演者の待機場所、各種機材の保管場所として使用する舞台袖ですが、耐震工事中は今までの姿とちょっと違ってしています。日々の工事のための資材置き場や、作業員さんの通路として使用されています。工事終了後も元のように使用するために、床には丁寧な養生がされています。

次回は「つかみ金具」です。



POSTER GALLERY 2011▶2015

いわみ芸術劇場 公演ポスターギャラリー

vol. 2

グラントワが開館した2005年10月から現在まで、いわみ芸術劇場では、コンサート、オペラ、合唱、ミュージカル、演劇、ダンスなど、さまざまな公演が開催されました。これまで行われた公演のポスターをご紹介します。

※すべてのポスターは掲載していません。ご了承ください。

Grand Toit's RECOMMENDATION
グラントワのおすすめ



国内外で活躍中の
2名のコンテンポラリー
ダンサーによる身体表現の
ワークショップ開催!

コンテンポラリーダンスって?と思われる方が多いかもしれません。ニュアンスはわかるものの、詳しい意味までは知らないという方も多いのではないのでしょうか。

このあまり聞き馴染みのないダンスは簡単に説明するとテクニック、振り付けに共通の形式を持たない自由な身体表現です。身体の感じるまま自由に動く感覚、そして自分の身体と向き合いながら新しい動きや感覚を発見できる魅力があります。

そんなワクワクするようなワークショップを今回、中村蓉さん・長谷川暢さんをお招きして開催する予定です。この機会に是非身体を使って表現する楽しさを体験してみませんか?

「コンテンポラリーダンス
ワークショップ」

2022年6月12日(日)
10:00~12:00
【会場】グラントワ スタジオ1
【料金】500円/要事前申込
※詳しくはグラントワHPをご覧ください。

中村蓉 NAKAMURA YO
早稲田大学モダンダンスクラブにてコンテンポラリーダンスを始める。sumika「MAGIC」MVや東京二期会オペラの振付も担当。国内外での公演やダンスワークショップも経験豊富。

長谷川暢 HASEGAWA TORU
ダンサー・和太鼓奏者。ダンスカンパニー「Co.山田うん」メンバー。2019年和太鼓+ダンスユニット「まどかばやし」を設立。日本の芸能に着目しつつ、演奏する身体と繋がるダンスを模索中。

神楽というジャンルが、この島根の地でこれからも熱狂を集め、憧れられるものであるために、今自分たちができることを同じ思いをもった高校生同士で考えた成果を発表します。ぜひ会場に足を運んでいただき聞いていただければと思います。



益田東高校神楽部「岩戸」(しまね伝統芸能祭2021より)

しまね伝統芸能祭2022
高校生の
神楽フェスティバル
2022年8月7日(日)
開演10:00/終演17:00(予定)
【会場】江津市総合市民センター
【入場料】全席自由・無料
【出演】神楽部/同好会のある県内の高等学校6校(予定)
浜田商業高校、浜田養護学校、益田東高校、遼摩高校、江津高校、矢上高校

ではなく、なんとなく神楽に接してこなかった同級生10人のうち、2~3人でもいいので神楽のことを「ちょっといいな」と自然に思ってくれる、そんな仕掛けを考えてみます。

地域×教育×劇場の
新しいあり方を模索

オンライン会議を通じた探究活動には島根県立大学地域政策学部講師・西嶋一泰さんにファシリテーターとして参加していただきます。さらに必要に応じて「総合的な探究の時間」として学校の授業や「マイプロジェクト」、高校魅力化コーディネーターとも関わりながら、神楽を主題に「地域×教育(高校・大学連携)×劇場」の新しいあり方を模索します。

本番では舞の披露プラス
探究の成果発表をします!

8月7日の本番では、オンライン会議で深めた探究の成果を発表するとともに、舞の披露を行います。

月1回のオンライン会議を開催して神楽の魅力を探求!

このフェスティバルの大きな特徴は高校生が【本番で舞を披露する】だけではなく【島根県の神楽の魅力について考え、発表する】という点です。

そのため、本番に向けて、月1回のオンライン会議を開催し、神楽の魅力について話しあい、考えを深めていきます。オンライン会議のテーマは「神楽に興味のない同級生に神楽を好きになってもらうには?」

身近にいる顔の見える同級生をターゲットに、どう説明すればどんな体験があれば、神楽に興味を持ってもらえると思うか? 無理矢理興味を持たせるの

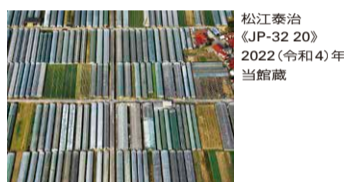


第1回オンライン会議の様子

しまね伝統芸能祭2022
高校生の神楽フェスティバル

島根県は全国的にも有数の伝統芸能が盛んな地域であり、多彩な芸能・神事が数多く残されています。グラントワでは、これまでに伝統芸能の持つ価値と芸術性を広く伝える事業を続けてきました。今年度は、高校生の神楽共演フェスティバルを江津市総合市民センターで開催。島根県の神楽を主題に「地域×教育(高校・大学連携)×劇場」の新しいあり方を模索します。

美術館に
さよなら
みよう



松江泰治
《JP-32》
2022(令和4年)
当館蔵
特別展
「松江泰治 JP-32」
7月23日(土)~8月29日(月)
会場:展示室D

The 石見美術館
わたしのおすすめ
Collection

学芸員 角野広海

水辺に大きな松がそそり立ち、その下には番の孔雀が描かれています。孔雀の周りには「百花の長」である牡丹が咲き、華やかな絵に仕上げられています。

孔雀は実物大の大きさで、細



部分拡大図



三浦紫暁
《孔雀図》

1833(天保4年) 当館蔵

部まで写實的に描かれることで、実際の孔雀が目の前にいるかのような迫力が生まれています。

この絵は縦163.4cm、横358.2cmの屏風作品(六曲一隻)です。

屏風は部屋の仕切りや装飾に用いるもので、折り畳んで持ち運び可能な調度品です。大画面の迫力は、実物を鑑賞する際の醍醐味と言えるでしょう。

この絵の作者は、江戸時代の津和野藩お抱え絵師・三浦紫暁です。孔雀図の名手として知られています。

特別展「松江泰治 JP-32」について、担当学芸員の川西由里さんにきいてみました。

Q1. 「JP-32」というのはどういう意味ですか?

日本の都道府県のコードで島根県を指します。写真家の松江泰治さんが各都道府県を撮ったシリーズのひとつで、2018年の企画展「めがねと旅する美術」のために制作を依頼しました。同展では6点が展示されましたが、このたび全40点を当館が収蔵したことを記念して、初めて一堂に公開します。

Q2. この作品(掲載図)は、どこを撮ったものですか?

益田で初夏に穫れる、あの果物の栽培場所です! 面白いでしょう。空からの視点で風景を切り取る松江さんの写真は、私たちが知っているつもりの場所の、思いがけない姿を露わにします。ほかにも海岸、工場、駅や港など、出雲と石見の様々な場所が登場しますよ。

あなたのまちで味わう芸術文化
グラントワ
館外公演事業
いわみ芸術劇場の大・小ホール休館中のあいだも、文化芸術を楽しんでいただけることを目的に開催します。
「アーティストがあなたのまちにやってくる!」
いわみステージ
石見地域全域を対象に様々なジャンルの公演を開催します。
「まちのあちこちでコンサートを開催」
グラントワ まちなか劇場
主に益田市内のお店や文化拠点を中心に公演をお届けします。
各公演の日程、会場等の詳細は、決まり次第HP等でお知らせします

石見美術館コレクション展

展示室A
コレクション展
石見ゆかりの洋画家たち
6月20日(月)まで開催中
寺戸恒晴や喜多村知など、石見地域の出身や石見ゆかりの洋画家たちの作品、約20点を展示します。なかでも美しいマリブルーの海景で知られる寺戸恒晴の作品は、昨年度の寄贈を受けて島根では初公開となります。

展示室B
コレクション展
根付 超絶技巧!
6月20日(月)まで開催中
超絶技巧とは、本来高度な演奏技術のことですが、最近では工芸分野でも使用されます。男性が留め具として使用した根付には驚くほど細かい文字が彫られるなど、超絶技巧の宝庫です。

展示室C
コレクション展
かたちを描く
抽象的に/具象的に
6月20日(月)まで開催中
ものかたちを、見える通りに再現する具象的な表現と、点や線、面、色自体の持つ表現力を追求する抽象的な表現を、油絵画と大型の彫刻作品により紹介します。

コレクション展
屏風の魅力
6月22日(水)~7月17日(日)
※「The Collection わたしのおすすめ」参照

特別展
松江泰治 JP-32
7月23日(土)~8月29日(月)
※「美術館にきてみよう」参照

松江泰治氏によるトーク
7月23日(土)14:00~
(詳細はHP等でご確認ください)

展示室D
松江泰治《JP-32 07》2018年

夢の様々な作品から同時代の画家の作品まで沢山みることができ幸せでした。ギャラリートークも非常によかったです。当時の文化、背景など知ることができました。(浜田市・20代/企画展「竹久夢二と乙女たち あこがれの美人、ときめきのモダンライフ」)
-今まで見たことも聞いたこともないような楽器と、その音のとり合わせから生まれる重厚なメロディや歌が素晴らしいです。「あの山を超えて」という歌と曲調を聞いて涙がでました。音楽は国境を越えると思いました。(益田市・60代/「海辺の小さなコンサート」)
-代表の熊谷先生のジュニアから大人まで指導される姿に感動いたします。先生の情熱が益田の文化にすくく役立っています。グラントワ合唱団として何回か共演しました。素晴らしいファミリーコンサートでした。(益田市・80代/「島根根拠楽団 第16回定期演奏会」)

Grand Toit & / リレーでコラム 4

南目美輝 (石見美術館学芸課長)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。
第4回は、学芸課長・南目美輝さんです。

グラントワに美術館の学芸員として関わることになって、20年が過ぎました。開館の準備段階では、この美術館が何を収集し公開していくのか、議論を深めました。そして「森鷗外ゆかりの美術家」「ファッション」「石見の美術」とコレクションの柱が決まりました。

「ファッション」は、当時(現在でも)、公立美術館として取り組むところがほとんどない分野であり、また今ほど美術館でファッションをテーマとした展覧会が開かれていませんでした。「ファッション」担当となり、先進的に取り組む組織で、美術館での「ファッション」の展示について学びました。開館以来17年間、「ファッション」に関する展覧会を何度か開催してきましたが、毎回、美術館で「ファッション」を扱うことの可能性を探る気持ちで取り組んでいます。

17年というのは、人の人生

で考えると長い時間ですが、美術品を保存し公開する文化施設としては短く、まだまだこれからというところでしょう。開館10周年に際し、当館設計者である建築家・内藤廣さんが「10才のグラントワ」について「幼稚園に通っているぐらいの感じ」とコメントされています。とすると今のグラントワは「小学校にあがったぐらい」でしょうか。今後も、多彩な展示や、劇場とのコラボレーションなど複合施設の特長を活かした経験を積み重ね、魅力的な「箱」として成長できるように努めていきたいと考えています。



「ファッション」コレクション展示の様子

今回は田尻直子さん(舞台技術振興課長)の予定です。

報告します!

今福座和太鼓大森公演
「よっしゃあ! ~春だ! 太鼓だ!」



当日の様子

石見が誇る太鼓打ち今福優さん率いる和太鼓集団「今福座」公演を大森町並み交流センター(大田市)にて開催しました。迫力の和太鼓演奏に来場者も大興奮。世界遺産の古き良き町並みに太鼓の音が響き渡り、春の芽吹きを感じる一日となりました。

グラントワアートサロン Vol.11
「What's JAZZ? ジャズの聴きかた、楽しみかた」



当日の様子

サクソの藤井政美さんとベースの山本優一郎さんによるジャズ入門講座を行いました。聴く時、演奏する時のコツを分かりやすく解説。迫力の生演奏に客席は熱気でいっぱいでした。

グラントワレトロ横丁が
開催されました!



当日の様子

企画展「竹久夢二と乙女たち」に合わせ、夢二が活躍した時代にちなみ「大正・昭和レトロ」をテーマにしたイベントが開催されました。懐かしの喫茶店や駄菓子屋、昔の遊びや人力車体験などのお店がスラリ!会場はレトロなひとときを楽しむ家族連れなどで賑わいました。

はみ出し情報

「グラントワ弦楽合奏団」、
島根県文化奨励賞受賞!



「グラントワ弦楽合奏団」

この度、グラントワのフランチャイズ芸術団体であるグラントワ弦楽合奏団が2021年度島根県文化奨励賞を受賞しました。グラントワ弦楽合奏団は、西部地域唯一の弦楽合奏団で、定期演奏会やオータムコンサートなど、精力的な演奏活動に力をいれています。

グラントワ通への道

Q. ウイルス対策の抗菌加工をしたときいたのですが本当ですか?

A. はい、本当です!「グラントワ」へご来館されるお客様に安心して施設をご利用していただけるよう、総合案内カウンター、回廊・中庭広場のベンチ、トイレの器具や手洗いカウンター、扉の取っ手など、お客様が触れる部分を中心に抗ウイルス・抗菌コート加工を行いました。



読者
プレゼント

「オロチくん」
オリジナルマグカップ
10名様にプレゼント!



毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、6月25日(土)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.70 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: present@grandtoit.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

ご来館の皆様へ

新型コロナウイルス感染症
感染拡大防止のため
ご協力をお願いいたします。

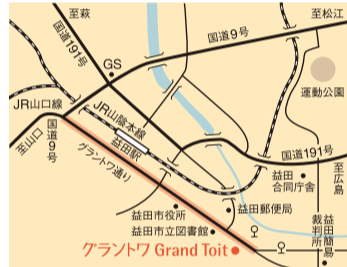
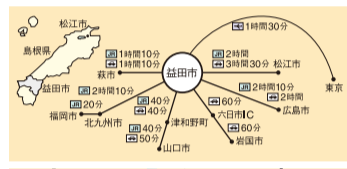
- ◎マスク等の着用
- ◎美術館・公演会場などへ入場前の検温・手指消毒
※37.5度以上のお客様は、ご入場をご遠慮いただく場合があります。
- ◎緊急連絡先などのご記入

発熱、咳等の症状のある方、体調不良の方、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域への訪問歴のある方は、ご来館をお控えください。

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は開館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始



交通案内
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
◎JR益田駅から徒歩15分
◎萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
◎JR新山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」
〒698-0022 益田市有明町5-15
TEL: 0856-31-1860(代表)
FAX: 0856-31-1884(代表)
e-mail: zaidan@grandtoit.jp

www.grandtoit.jp

大ホール・小ホールは
2023年4月末(予定)まで休館中

石見美術館、多目的ギャラリー、スタジオ1・2、中庭広場は、通常どおりご利用いただけます。

ビアガーデン ビアホール オープン!!

120分
飲み放題

シェフ
おまかせ料理



お一人様 5,500円(税込)

「しまねプレミアム飲食券」ご利用可!
[時間] 18:00~21:00(21:30に閉店します)
[期間] 6月1日(水)~8月31日(水)まで [休] 不定休
※予約制となっております。※4名様より承ります。
※真夏日、雨天の場合はビアホールに変更いたします。※当日のキャンセルは承りません。

Restaurant Pony
■営業時間 / 11:00~22:00
※イベントにより変更あり・夜は予約のみ
■店休日 / 不定休
■TEL / 0856-31-1873
www.restaurant-pony.com/

今年もやります! コン・アモールの人気企画

駄菓子 フェア

販売期間 7月9日(土)~
10月30日(日)まで(予定)

今回も、大人の人は懐かしくなり、子どもたちは見ているだけで楽しくなるような駄菓子をたくさん取り揃えて、皆様のご来店をお待ちしております。コン・アモールの期間限定の人気企画、ぜひお越しください!



※写真はイメージです。

MUSEUM SHOP
con amore
www.grandtoit.jp/shop/
■営業時間 / 9:30~17:00
■店休日 / 毎週火曜日
■TEL: 0856-31-1874

石見美術館 ミュージアム パスポート

一般(税込) 3,000円
大学生(税込) 1,800円
小中高生(税込) 900円

石見美術館の企画展とコレクション展を何度でもご覧いただける年間観覧券です。

- 提携美術館®の観覧料割引
※県内外18施設(2022年2月現在)
- グラントワ提携店での優待サービス
- 「石見美術館ニュースレター」等のお届け
- 更新後の有効期間を一カ月間延長!

グラントワ提携店を ご存知ですか?

グラントワ会員の特典として、グラントワ提携店(全30店舗:2022年4月現在)での優待サービスを受けられます。商品や食事の割引、プレゼントなど、提携店ごとに異なる様々なサービスをご用意しています。ご利用方法は、店頭で会員カードを提示するだけ。ぜひ、お得意のグラントワ提携店へお出かけください!

提携店の場所や詳しい内容は、WEBサイトでチェック!
www.grandtoit.jp/tieup/shop.html

Facebook やっています!



「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や「いわみ芸術劇場」で開催されるオペラ、コンサート、映画などの情報ははじめ「グラントワ」で行われる様々なイベントや耳より情報をいち早くお届けします。

www.facebook.com/grandtoit.jp

いわみ芸術劇場 大ホール・小ホール 耐震改修工事の お知らせ



国の最新の基準を満たし、大規模な地震に対してお客様の安全を確保するため、いわみ芸術劇場大ホール・小ホールの客席および大ホールホワイエ天井の耐震改修工事を行います。ご迷惑やご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

工事期間 現在工事中~
2023年4月末まで

※工事期間は予定です。工事状況は各諸事情により変更になる場合があります。※工事の状況によっては、その他のエリアについても短期間の利用休止になる場合があります。※最新情報ほか、詳しくはグラントワホームページ等でお知らせします。